



■背景と目的

大阪でも「道の駅」などで、さまざまな地元産の野菜や果物が販売され、たくさんのお客さんにぎわっています。

そんな豊かな農産物を育ててくれているのは、府内の農業者です。大阪府の総人口約884万人のうち、農業者は約1.5万人と少数精鋭で大阪の食文化を支えています。

環農水研では、明日の大阪農業の担い手をはぐくむ「農業大学校(大阪農大)」を設置しています。

本校は農業後継者や農業技術者の養成を行う研修機関であり、幅広い視野から農業を考え、時代の変化に対応した技術力と判断力、応用力を身につけていただくことを方針としています。

■事業の内容

高校卒業以上の方を対象に、講義と実習を組み合わせた2年間の実践的な研修を実施します。

2年生から3コースに分かれて、専門的な知識・技術を習得します。

●農業技術研鑽コース

大阪における最先端の農業研究を実施する環農水研の研究部門のサポートにより、専門的な知識を習得します。

●農業実践コース

学生自らが作成した経営計画に基づき、ほ場の周年管理を行い、技術力と経営力を習得し、就農を目指します。

●農業参入コース

長期間の農家実習や校内での実習を重視し、卒業後はすぐに新規就農できる担い手の育成を目指します。

■今後の方向性/考察

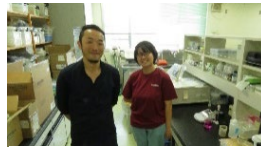
府内の農業者の多くは70歳前後と高齢化し、リタイアする農家がさらに増加していくと予想されています。

このような情勢の中、環農水研が有する最先端技術、広大な実習フィールド、教員と農業者とのつながりをフル活用した研修体制で、有能な農業者、農業技術者の育成を目指します。



在校生(2年生)

- 1学年25名定員の少人数制
- 午前は講義、午後は実習のメリハリついた実践重視の構成
- 講義ではベテラン講師陣による、理論的な農業技術指導
- 実習では農業技術を有している職員が基礎から現場に即応する最新技術まできめ細かく指導。様々な野菜・果樹等について学びます。



研究員との卒論研究



実習用ハウス風景



農家実習風景



トラクター操作実習



野菜実習風景



果樹実習風景

取得できる資格

- ・大阪版農業機械士
- ・毒物劇物取扱責任者
- ・大型特殊免許(農耕用)
- ・日本農業技術検定
- ・土壤医検定
- ・危険物取扱者乙4種

就農・就職率95%以上！

■短期プロ農家養成研修

新規就農希望者や、定年帰農の方などを対象に、基礎的な技術を学びます。

●集中講座

- ・野菜部門:年間40回・月4回程度。果菜・葉菜・根菜類などの栽培講習や実習を実施。
- ・果樹部門:年間20回・月2回程度。ぶどうやみかんなどの栽培講習や実習を実施。

●農業入門講座(3日間)

栽培方法の講習と実習のほか、大阪府内での就農や農薬の適正使用などについて講習します。